

平成30年度子ども部新規・拡大事業について

1 直近2年間の事業の進捗

H28年度

- 4月・待機児童ゼロ（国基準）達成
 - ・「ドリーム子育て支援センター」を開設
 - ・3つの保健福祉センターに「親子すこやかセンター」を設置
 - ・放課後児童クラブ（東松戸小学校）を開設
 - ・子どもの学習支援事業（新松戸、松戸）に常盤平を追加
- 5月・ブックスタートを開始
- 6月・放課後KIDSルーム（東松戸小学校）を開設
- 8月・子育て情報サイトを「まつどDE子育て」としてリニューアル
- 9月・全公立保育所17か所で「楽しい英語あそび」を開始
- 10月・子育て支援PR動画「Family Support No.1」を制作、近隣映画館でCM上映
 - ・産後ケア事業（訪問型）を開始
- 11月・放課後KIDSルーム（高木第二小、栗ヶ沢小）を開設
- 12月・「子ども夢フォーラム」を開催
 - ・病後児保育室「ラポールマツド」を開設
- 1月・ゲットユアドリーム 根木内中学校で開始
- 2月・放課後KIDSルーム（殿平賀小、寒風台小）を開設
 - ・産後ケア事業（日帰り型）を開始
 - ・子育て関連施設見学バスツアーを開催
- 3月・「はなみずき子育て支援センター」を開設

H29年度

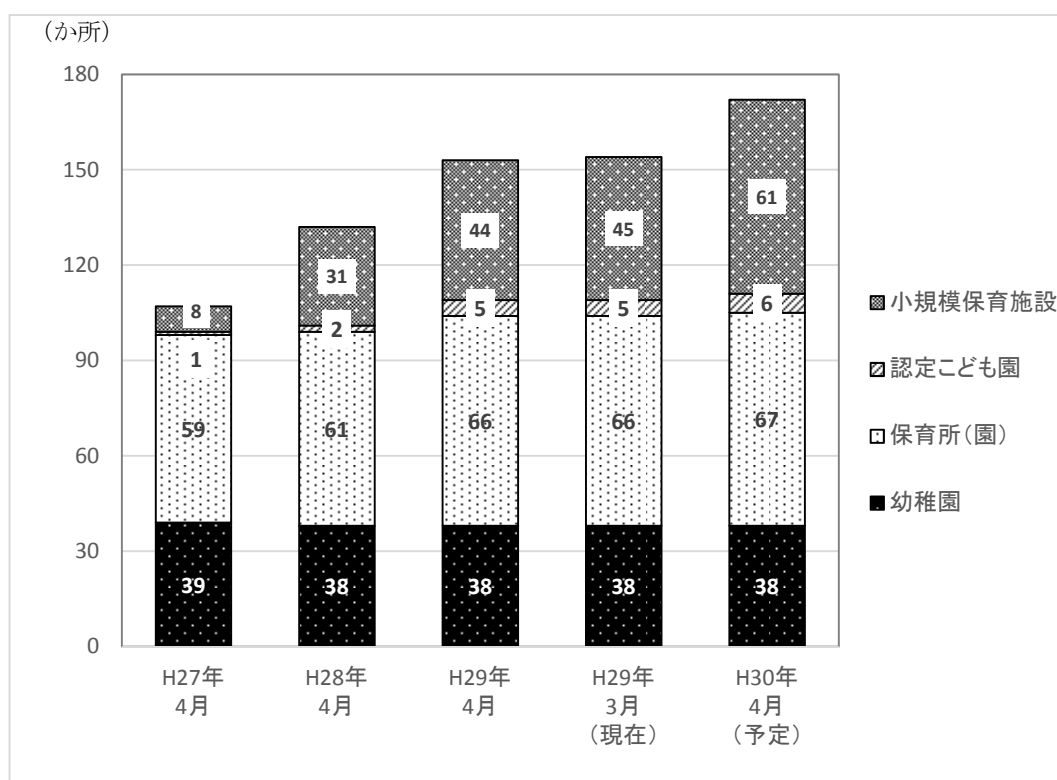
- 4月・待機児童ゼロ（国基準） 2年連続達成
 - ・公私連携型保育所「ケヤキッズ保育園」がオープン
 - ・「グレース子育て支援センター」、「おやこDE広場みのり台」を開設
 - ・子ども家庭相談課内に「子ども家庭総合支援拠点」を併設
 - ・子ども家庭相談課内に「子どもの未来応援担当室」を設置
 - ・児童短期入所等委託業務に土曜日養護（さわらびドリーム保育園）を追加
 - ・松戸市特定不妊治療費助成事業において、男性不妊治療への助成を開始
- 6月・市内全23駅の駅前・駅中に小規模保育施設設置完了
- 7月・「子どもの未来応援会議」の設置
- 8月・常盤平児童福祉館50周年 記念事業の開催
 - ・送迎保育ステーションでの一時預かりを開始
 - ・子どもの学習支援事業（新松戸、松戸、常盤平）に六実地区を追加
 - ・子育て支援PR動画「Family Support No.1」の映画館CM上映を再開
- 9月・放課後KIDSルーム（古ヶ崎小、常盤平第三小、小金北小）を開設
- 11月・「ラポールマツド」病児の受け入れを開始（病児・病後児保育）
- 12月・「共働き子育てしやすい街ランキング」全国編第1位受賞
- 12月・「まつどDE子育てアプリ」の提供開始
- 1月・子育て支援PR動画「世界一の感謝状」の制作・公開（YouTube再生回数23万回）
 - ・ゲットユアドリーム 古ヶ崎中学校で開始
- 2月・ふれあい体験 小金中学校で開始

2 子ども・子育て支援の地域資源

平成30年3月1日現在

教育・保育施設 (※1 参照)	幼稚園	38	
	認定こども園	5	
	公立保育所	17	66
	私立保育園	49	
地域型保育事業	小規模保育施設	45	
保育事業	病児・病後児保育施設（病児・病後児）	2	3
	病児・病後児保育施設（病後児）	1	
	病児・病後児保育（体調不良時対応型）	3	
	ショートステイ	1	
	トワイライトステイ	1	
	休日養護	1	
	土曜日養護	1	
地域子育て支援拠点	おやこDE広場	16	23
	地域子育て支援センター	7	
放課後子ども 総合プラン	放課後児童クラブ	45	
	放課後KIDSルーム	20	
児童館・こども館 (児童厚生施設等)	児童福祉館	1	
	こども館	2	

※1 教育・保育施設の施設数の変化



3 平成30年度の新規・拡大事業

子ども・子育て支援

【待機児童解消対策】—幼児保育課—

平成29年4月時点国基準【待機児童2年連続ゼロを達成！】→平成30年4月も継続をめざす

待機児童数（4/1現在）

	H27	H28	H29
国基準	48人	0人	0人
入所保留者	411人	143人	85人



施設整備〔平成29年度〕 H29.4.1現在 H30.4.1現在
 認可保育所 2か所整備：71か所 → 73か所
 （認定こども園を含む）
 小規模保育施設 17か所整備：44か所 → 61か所

★61か所の小規模保育施設 県内1位

★市内全23駅の駅前・駅中に小規模保育施設の設置を平成29年6月に完了

県内初

■ 民間保育所関係事業

（建設費補助金）526,783 千円

〔平成31年4月開所予定：建設費補助＝馬橋（新設）、八景台保育園（建て替え、定員120人→130人）〕

（馬橋保育園建設費補助金（継続費））235,215 千円

〔建て替え、平成31年4月開所予定：定員60人→80人〕

（第一平和保育園建設費補助金（継続費））303,750 千円

〔建て替え、平成31年4月開所予定：定員120人→139人〕

■ 地域型保育関係事業

（施設改修費等補助金）150,000 千円

〔小規模保育施設 建設費補助1か所・改修費補助9か所 合計10か所整備〕

か所数・定員数（4月現在）

	H30	H31
認可保育所（認定子ども園含む）	73か所・6,924人	74か所・7,063人（139人増）
小規模保育施設	61か所・958人	71か所・1,112人（160人増）
合計	134か所・7,882人	145か所・8,175人（299人増）

保育施設の定員数
 （平成31年4月時点・前年比）
 合計 299人増加



【待機児童ゼロの継続】

■ 送迎保育事業 39,000 千円

松戸駅前＝アクセプト松戸ステーション

定員25人〔保育園に送迎し、ステーションで一時預かり〕

NEW

新松戸駅前＝新松戸駅前送迎保育ステーション

定員25人〔幼稚園に送迎し、ステーションで一時預かり〕

送迎保育ステーションを活用し、幼稚園バスを使い、幼稚園での長時間保育と送迎を行うのは**全国初**

■ 幼児教育支援事業 [幼稚園での預かり保育を推進]

（私立幼稚園預かり保育促進業務）72,596 千円

〔幼稚園への補助：預かり保育の実施に係る人件費の一部を補助 12園⇒16園〕

〔保護者への補助：保育園保育料との差額を助成 月額最大25千円

利用者数169人（H28.4）⇒208人（H29.4）〕

NEW

〔預かり保育を社会福祉法人に委託するモデルケースを実施する。

幼稚園教育の理解・資質向上を図るための研修費用を補助〕

【保育士確保対策】—幼児保育課—

これまでの取組みとあわせ、今後も保育士の確保を推進します。

■ 民間保育所関係事業

(優良保育士報償金) 202千円

(保育士宿舍借上支援業務) 24,660千円

〔新卒保育士が市内賃貸物件に居住する場合の家賃補助を実施 上限:月額 30千円 など〕

(保育支援者設置補助金) 20,160千円

(保育施設従事者支援補助金) 645,608千円

〔勤続年数に応じ毎月4万5千円から7万2千円を上乗せする「**松戸手当**」として、保育施設に対し人件費の一部を補助〕

(保育士定着支援業務) 1,815千円

■ 保育士等確保事業

(保育士資格取得支援業務) 1,474千円

〔保育従事者として勤務する者に対し、保育士試験講座受講費用を補助 上限:150千円〕

(保育士就職支援貸付金) 1,500千円

〔市内民間保育園に保育士として就職する場合の就職準備金貸付 貸付額:100千円〕

NEW (保育士養成修学資金貸付金) 3,680千円

〔大学等で修学し、卒業後に市内民間保育園に保育士として勤務する意思のある人に無利子で修学金を貸し付け 貸付額:年360千円(2年間まで)〕

【幼稚園教諭確保対策】—幼児保育課—

■ 幼児教育振興事業

NEW (幼稚園教諭免許状取得支援補助金) 750千円

〔市内幼稚園で働く教諭補助者に免許取得費用の一部を補助〕

【地域子育て支援】—子育て支援課、子どもわかもの課、幼児保育課、子ども家庭相談課他—

■ 地域子ども・子育て支援事業 572,010千円

〔常盤平児童福祉館に、おやこDE広場を設置、一時預かり併設、子育てコーディネーター配置〕

【小学生の放課後の環境整備】—子育て支援課—

児童・生徒が安全・安心に放課後を過ごし、多様な体験・活動ができる環境を整備します。

■ 放課後子ども総合プラン事業

NEW (放課後児童クラブ運営事業者選考委員会委員報酬 95人)961千円

〔平成31年度からの放課後児童クラブ委託化に向け、選考委員会開催〕

(放課後児童健全育成業務) 706,027千円

〔放課後児童クラブ 45か所 定員2,880人⇒3,360人に**拡大** 利用料金:月額9千円〕

(地域放課後児童支援業務) 105,341千円

〔放課後KIDSルームを20校から23校に**拡大**〕

【その他の子育て支援】

「子育てしやすいまち・まつど」を積極的にPRします。

■ 子ども・子育て政策推進事業 11,390千円 **—子ども政策課—**

〔子育てプロモーション関係経費：映画館でのCM枠やSNSを活用したPR、広報まつど特集号発行 など〕

■ 育児の情報提供事業 **—母子保健担当室—**

（育児の情報提供業務） 3,086千円

NEW〔妊娠中の女性と生後100日までの親に1日1通、2歳児までの親には年齢に応じ、3日／7日／14日に1通「きずなメール」を登録者に配信〕

【子どもの未来応援】

「松戸市子どもの未来応援プラン」（松戸市子どもの貧困対策計画）に基づき、全ての子どもの明るい未来を応援します。

■ 子どもの貧困対策推進事業 1,617千円 **—子どもの未来応援担当室—**

〔子どもの貧困対策推進会議委員報酬 10人：255千円〕

NEW子どもの未来応援講演会：504千円（子どもの未来応援プランの周知）
子育て世帯生活実態調査報告書印刷製本等：858千円〕

■ 生活困窮者自立支援事業／ひとり親家庭支援事業

（子どもの学習支援業務） 26,736千円 **—生活支援一課—**

（ひとり親家庭学習支援業務） 54,436千円 **—子育て支援課—**

〔生活困窮者世帯やひとり親家庭の児童生徒などに対し学習支援を実施：児童・生徒への学習支援
新規1地区の追加（新松戸地区、松戸駅周辺地区、常盤平地区、六実地区とあわせ**5か所**に）・

NEW松戸駅周辺地区の高校生の学習支援を週1回⇒週2回に**拡大**、模擬試験受験1回⇒2回に**拡大**

■ 青少年自立支援事業 **—子どもわかもの課—**

（中高生支援業務） 2,592千円（内閣府 子どもの未来応援交付金事業）

NEW〔学校や家庭以外の安全安心な居場所を提供し、孤立の防止や支援につなげるため、
「中高生の居場所づくり」を、5か所（松戸駅周辺・新松戸・常盤平他）で実施〕

■ 児童虐待等早期発見・対応事業 **—子ども家庭相談課—**

（家庭児童相談関係業務） 69,794千円

〔児童家庭に関する実態把握、相談、指導などを一体的に担う支援拠点の整備：

子ども家庭支援員1人⇒2人・心理担当支援員3人・家庭相談員9人⇒10人・婦人相談員4人〕

■ 地域子ども・子育て支援事業 **—母子保健担当室—**

（養育支援訪問業務） 5,764千円

〔支援が必要でありながら自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に訪問による支援を実施〕

【子どもの未来応援】つづき

■ 教育相談事業 —教育研究所—

(適応指導教室運営業務) 10,807千円

〔不登校の児童生徒に対し、個々に応じた指導や支援を実施〕

(学校教育相談業務) 25,460千円

〔不登校などの諸問題を抱える児童生徒や保護者からの教育相談体制の充実:相談員1人増
教育と福祉との連携により家庭環境に福祉的なアプローチを実施:今年度、県内で初めて市職員として
固定配置したスクールソーシャルワーカーを3校(市職員・非常勤職員の2人1組=計6人)に拡大 など〕

「いじめ」・「医療的ケア児」などへの対応を強化します。

■ 児童生徒活動支援事業 —指導課—

(いじめ防止対策委員会委員報酬 5人) 213千円

〔教育委員会の附属機関として、いじめ防止等に関する調査研究や市が実施するいじめ防止等の対策
に関する審議を実施〕

■ いじめ調査委員会委員報酬 5人 43千円 —指導課—

〔市長の附属機関として、重大事態の再調査や再発防止などの措置について審議〕

■ 障害者福祉関係事業 —障害福祉課—

(障害児支援関係業務) 2,254千円

NEW〔医療的ケア実施のため喀痰吸引研修を受講した介護職員の受講料を助成・障害福祉サービス事業所
の看護師に在宅医等が巡回指導・看護師や相談支援専門員に研修実施〕

■ 特別支援教育事業 —障害福祉課—

NEW(医療的ケア推進業務) 1,110千円〔医療的ケアを必要とする児童生徒に対し、看護師を学校に固定配置して実施している体制に加え、
医療的ケアの専門医による巡回指導等を行い、校内支援体制を充実〕

教育

【教育環境を充実】

■ 学習指導事業 —指導課—

(国際理解教育推進業務) 120,981千円

〔・小学校英語指導者 15人⇒19人:30,235千円

NEW・海外派遣研修業務委託料(10人分):6,994千円(TESOL指導法(英語を母国語としない人に
英語を習得させる指導法)に関するノウハウを持つオーストラリアへ市内英語教員を派遣) など〕**NEW** 中学校夜間学級事業 (学校管理費) 53,826千円**NEW** 中学校夜間学級事業 (教育振興費) 3,360千円 など

〔平成31年度に開設予定の中学校夜間学級(夜間中学)の開設準備〕

—教育企画課、
教育財務課、
教育施設課—「教育の機会確保法」施行後に開設する「夜間中学」としては**全国初**